

件名	墨田区の公的保育制度の堅持・拡充に関する陳情		
提出者 住所氏名	墨田区堤通一丁目17番2号 すみだの保育を考えるネットワーク 代表 村 杉 奈美子 外2,014人		
受理年月日	平成19年1月29日	受理番号	第1号
<p>要 旨</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 墨田区の保育水準をより良いものとするため、公設園の今後のあり方を含む中長期的な保育ビジョンを住民参加で検討してください。</li> <li>2 保育所の「最低基準」は廃止・切下げをするのではなく、抜本的に改善してください。また、保育条件を改善するための予算を大幅に増やしてください。</li> <li>3 保育内容、保育運営ともに保護者や地域住民から高い信頼を受けているあおやぎ保育園を指定管理期間の5年間経過後も、引き続き安定した運営が継続できるよう検討してください。</li> <li>4 給食業務委託園でも食育の観点から調理保育等の実践をしている区もあり、墨田区においても、献立内容の向上や食と保育内容の関係を密にする給食業務内容の向上を検討してください。</li> <li>5 仕事と子育ての両立のための病後児保育・子育て家庭支援の一時保育サービス等は、就労・未就労にかかわらず、子育て世代の関心の高い保育サービスです。病後児保育、一時保育を計画どおり早期に実施できるように検討してください。</li> </ol> <p>(理 由)</p> <p>歯止めがかからない少子化の進行のもとで、安心して子どもを産み育てることのできる環境、子どもたちが健やかに育つことができる環境の整備は緊急の課題であり、本来、保育・子育て支援に向けた国・自治体の責任による施策の拡充が求められています。</p> <p>ところが、公立保育所運営費の一般財源化や補助金の交付金化による保育予算の削減が進んでいるなど、この間の実態は見過ごせないとして、国と自治体の責任による保育等の施策の拡充を求める「公的保育制度の堅持・拡充」の国会請願が、12月14日参議院厚生労働委員会、19日衆議院厚生労働委員会において全会派一致で採択されました。</p> <p>両院での採択は初めてのことであり、少子化対策など保育、子育て支援の大切さが広く国民世論となっていること、規制緩和や民営化が様々な問題を引き起こしていることの重みが受け止められたものと考えています。</p> <p>この国会の請願採択を受け、政府としての対応策を検討することが求められることとなりますが、併せて私もすみだの保育を考えるネットワークといたしましては、墨田区の保育を児童福祉法第24条に基づき、国と自治体の責任による保育制度を堅持し、保育・子育て支援施策の拡充と予算の大幅な増額などをしていただきたく、以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>			